

平成 25 年度  
事業報告書

平成 25 年 4 月 1 日から  
平成 26 年 3 月 31 日まで

公益財団法人 浄土宗ともいき財団

# 目次

平成 25 年度 概況	1
-------------	---

## I 公益目的事業

1. 地域交流事業（公益目的事業 1）	1
① 講演型	
② 行事型	
③ 振興型	
2. 助成事業（公益目的事業 1）	2
3. 相談活動事業（公益目的事業 1）	3
① 相談活動	
② 人材育成	
4. 国際協力事業（公益目的事業 1）	4
① 国際支援活動	
② 国際交流活動	
5. ラジオ放送事業（公益目的事業 1）	4
6. 普及活動事業（公益目的事業 1）	5
① 冊子等による普及活動	
② インターネット・人との繋がりによる普及活動	

## II 収益事業

1. 出版事業（収益事業 1）	6
① 書籍の制作	
② 書籍の販売	
2. 物品販売事業（収益事業 2）	6
① グッズの製作	
② グッズの販売	

## III 管理部門

1. 会員管理・寄付金	7
2. 会議	7

# 平成 25 年度 概況

平成 25 年 4 月 1 日、旧法人「財団法人浄土宗報恩明照会」の解散登記及び新法人「浄土宗ともいき財団」の設立登記を行い、新定款のもと公益財団法人として新たなステージを迎えた。

公益財団法人として出発するにあたり、①諸規程の整備、②財政基盤の確立、③情報公開、の三点に重点を置いて組織及び運営の整備を行うとともに、当財団の目的である「寺院を通じた社会貢献」を具体化するための地域交流事業（公益目的事業 1）をはじめとした各事業に積極的に取り組んだ。

## I 公益目的事業

### ともに助け合い、支えあう「有縁社会」実現のための事業

#### 1. 地域交流事業（公益目的事業 1）

地域と寺院のつながりを強化することで、寺院・僧侶が地域住民の精神的拠り所となり、地域交流や社会貢献活動において中心的役割を果たせるよう財団が協力する事業。また国内において災害発生時には、他の事業と連携しながら即時対応する。本事業を推進することが、取りも直さず浄土宗各寺院の公益性を高め、同時に地域住民の交流を促し、豊かな地域社会の形成に繋がると考えている。

平成 25 年度はこれまでの事業を継承しつつ、新事業発足準備をおこなった。

#### 【平成 25 年度実績】

##### ①講演型（寺院・僧侶への働きかけ）

僧侶や寺庭婦人の資質向上を促し、一般・檀信徒にとって有益な寺院を構築することを目的とした講演を提案する事業。

#### ■セミナーの開催 ≪ 244, 320円 ≫

- ・平成 25 年 10 月 1 日 仏教カウンセリングワークショップ@九州ブロック浄土宗青年会
- ・平成 25 年 12 月 17 日 仏教カウンセリングワークショップ@静岡教区

##### ②行事型（一般・檀信徒への働きかけ）

各地域の寺院・僧侶と協同し、一般・檀信徒の益となる催しや活動を企画、提案、実行する事業

#### ■出前寺子屋（生老病死をテーマとした講演） ≪ 6, 729, 684円 ≫

- ・出前寺子屋  
全国各地 24ヶ所で開催

- ・被災地出前寺子屋  
平成 25 年 4 月 17 日 福島県南相馬市  
平成 25 年 4 月 18 日 宮城県南三陸町  
平成 25 年 8 月 11, 12 日 宮城県仙台市
- ・平成 25 年 11 月 1 日 願海庵まつり
- ・平成 25 年 12 月 18 日「子どもの未来は日本の未来～考えよう虐待のない社会～」

■寺子屋活動 ≪ 1, 645, 168円 ≫

- ・被災地心のケア支援活動@西光寺（石巻市）  
平成 25 年 5 月 下見  
平成 25 年 6 月、平成 25 年 9 月～平成 26 年 3 月 支援（計 8 回）
- ・「ひとさじの会」被災地支援活動の協同  
平成 25 年 6 月 19～21 日 大船渡市、陸前高田市  
平成 25 年 10 月 26～28 日 気仙沼市

③振興型（地域社会への働きかけ）

財団、寺院、一般・檀信徒の三者が一体となり、地域社会の活性化に寄与することを目的とした催しを行う。

■巡礼事業 ≪ 1, 250, 630円 ≫

- ・平成 25 年 10 月 30 日～31 日 山口教区（周防大島）巡礼コンサート
- ・平成 25 年 11 月 11 日 石見教区巡礼コンサート

■子ども寺子屋（教区間子ども交流活動） ≪ 1, 061, 675円 ≫

※ふくしまっ子 smile プロジェクトとの共催

- ・平成 25 年 5 月 26 日 親子で行こう！田植え体験ツアー（いわき市～山形市）
- ・平成 25 年 10 月 5, 6 日 親子で行こう！稲刈り体験ツアー（いわき市～山形市）

■新プロジェクト発足準備 ≪ 382, 585円 ≫

- ・ともいき日高プロジェクト
- ・ともいき防災プロジェクト

## 2. 助成事業（公益目的事業 1）

国内外における公益活動やボランティア活動など仏教精神に基づく社会貢献活動において、その活動の実施主体者である浄土宗寺院・関係団体から申請があった場合、その資金の全部または一部を助成し「寺院を通じた社会貢献活動」を推進する事業。また災害発生時には、災害に対するボランティア活動支援を行う浄土宗寺院・関係団体に援助をおこなう。

審査方法は当法人の募集要項に基づき、1 団体につき年 1 回・50 万円を上限に助成を行う。助成先に対しては中間及び結果報告を求める。

平成 25 年度は募集要項および選考基準の整備をおこない、応募団体の増加に力を入れた。

### 【平成 25 年度助成団体】

■社会慈業委員会ひとさじの会 ≪500,000円≫

■<sup>れんけい</sup>蓮馨寺あかりアート実行委員会 ≪100,000円≫

■滋賀教区浄土宗青年会 ≪100,000円≫

## 3. 相談活動事業（公益目的事業1）

仏教精神に基づく相談活動とその人材育成をおこなう事業。また、かつて寺院が担っていた地域住民の相談場所としての役割を再び盛り立てるため、浄土宗各寺院がおこなう相談活動のバックアップをすることも本事業の役割の一つである。

平成 25 年度電話相談員養成講座を開催したことにより相談員が 14 名増加し、計 29 名と倍増した。

### 【平成 25 年度実績】

#### ①相談活動

人々の悩みを解決する一助を担い、様々な心の問題の解消に取り組む。また寺院がおこなう相談活動に協力する。

■心といのちの相談所事業 ≪1,157,635円≫

- ・心といのちの電話相談室の運営
- ・広告：①パンフレット全カ寺配布 ②浄土宗新聞（年間6回）  
③フリースタイルな僧侶たち（年間6回）
- ・心といのちの相談所掲示看板修正シール作成

#### ②人材育成

「①相談活動」のための人材を育成する。

■心といのちの電話相談室 相談員養成講座 ≪1,691,480円≫

- 8月28日 電話相談員養成講座 開催案内 全カ寺発送
- 10月4日 「仏教カウンセリングと傾聴」 神 仁（全青協 主幹）
- 10月10日 「電話相談の基礎①」 内藤 武（埼玉いのちの電話 研修委員長）
- 10月18日 「電話相談の基礎②」 内藤 武（埼玉いのちの電話 研修委員長）
- 10月24日 「グループディスカッション」
- 11月1日 「グリーンケアについて」 大河内 大博（上智大学グリーンケア研究所）
- 11月14日 「家族問題について」 竹前ルリ（家庭問題情報センター主任研究員）
- 11月22日 「仏教カウンセリングについて」 畦 昌彦（浄山カウンセリング研修会）
- 11月28日 「精神疾患について」 水島 広子（精神科医）
- 12月5日 「自死念慮について」 小野 静法（自死・自殺に向き合う僧侶の会 相談員）
- 12月19日 「振り返りと講座のまとめ」 神 仁（全青協 主幹）

#### 4. 国際協力事業（公益目的事業1）

当財団の「世界に共生（ともいき）を」の理念に基づき、主にアジア仏教圏に対し寺子屋（政府認定の小学校）建設のための経済支援を行う事業。現在、ミャンマーを中心に活動をしているのは寺子屋が公的な機関として認定されていることと、他国と比べて校舎建設の緊急性が高いためである。

平成25年度はこれまで目標としてきた第10校目の寺子屋を建設した。また新たな試みとして「ミャンマー祭り」を開催し、社会に対しミャンマー支援への理解を得るとともに他団体と交流を深めた。「ミャンマー祭り」は来場者数35,000人という大規模なイベントとなり、その反響の大きさから次年度以降も継続の方針である。

##### 【平成25年度実績】

###### ①国際支援活動

主にアジア仏教圏での青少年の健全な育成・発展を目指せる環境をつくるための活動。

■ミャンマー寺子屋 第10校目建設支援、ミャンマー寺子屋支援募金ポスターの制作  
 ≪4,738,680円≫

■平成25年10月15日 ミャンマー寺子屋 第10校目開校式  
 ≪1,299,636円≫

###### ②国際交流活動

海外の宗教団体や非営利団体と交流し、双方向での情報発信と協力関係の構築に努める。

■平成25年11月17日、18日 「ミャンマー祭り2013」開催≪367,033円≫

■ミャンマーチャリティーポストカードの作成 ≪205,684円≫

#### 5. ラジオ番組制作事業（公益目的事業1）

社会問題として取り上げられる「無縁社会」を解消し、「ともいき社会」へと変えるために、聴取者が人と人との繋がりを感じ、心が温まるような番組を企画・製作する事業。

平成25年度は従来の「ふるさと」をリニューアルし、新番組「心に沁みるともいき話」の制作を行った。なお本事業は25年度を持って浄土宗のラジオ番組「法然様の時間」に統合されることとなった。

##### 【平成25年度実績】

■番組製作 ≪31,220,058円≫

- ・新番組の企画検討、原稿集計
- ・新番組の周知および原稿募集用チラシの発行

放送局一覧					
毎週土曜日	信越放送	17:50～	毎週日曜日	北陸放送	07:50～
	山陰放送	07:35～		新潟放送	07:15～
	琉球放送	10:50～		KBS 京都	17:50～
				南海放送	08:40～
				山口放送	09:45～
				長崎放送	08:30～
				宮崎放送	08:30～

## 6. 普及活動事業（公益目的事業1）

当財団の目的である「社会に慈しみを」「世界に共生（ともいき）を」の理念を国内外に発信し、「寺院を通じた社会貢献」に対する理解を深め、公益活動の広まりを目指す事業。

「寺院名鑑」が平成25年度版として改定されるにあたり、財団の広告を新たに作成し掲載した。また大御忌事業の終了に伴い、「ともいきがたりTV」も平成25年度をもって終了となった。

### 【平成25年度実績】

#### ①冊子等による普及活動

対象者の手元に直接届く媒体を使用した普及活動。

##### ■定期刊行会報誌 《282,780円》

・活動報告書「ともいき財団だより」の制作

4月 「やめよう児童虐待 とめよういじめ」活動報告

6月 ミャンマー寺子屋建設支援募金

7月 被災地心のケア支援活動の報告と募金

9月 心といのちの電話相談室 相談員養成講座開催案内

11月 ともいき財団助成団体募集

##### ■その他広報 《21,000円》

・平成25年度版「寺院名鑑」 財団広告の制作

・各事業のプレスリリース発送

#### ②インターネット・人との繋がりによる普及活動

インターネットの活用や、協力者との連携によって公益活動を広める。

##### ■WEB運営 《1,557,855円》

・財団ホームページ、動画サイト「ともいきがたりTV」の制作・更新

##### ■平成25年8月30日 財団Twitter, Facebook ページ開設

## Ⅱ 収益事業

### 公益活動を行うための収益事業

#### 1. 出版事業（収益事業1）

日本の文化・行事などに根差した仏教的精神を知らしめるための書籍「浄土宝暦」の出版を行う。

##### 【平成25年度実績】

①書籍の制作 ≪17,730,044円≫

■平成26年版浄土宝暦の制作

##### ②書籍の販売

■平成26年版浄土宝暦の販売

・売上：339,765部

#### 2. 物品販売事業（収益事業2）

劈頭宣言普及のためのグッズ製作事業。

##### 【平成25年度実績】

①グッズの製作 ≪1,058,018円≫

■「人間法然」の製作

##### ②グッズの販売 ≪458,509円≫

■法然上人スゴロクの販売

・売上：1,003部

■法然上人散華の販売

販売の方式として50枚1組・各絵柄10枚ずつの「セット」と、5枚1組・各絵柄1枚ずつの「バラ」の二種がある。

・売上：第一弾…セット:210組      バラ:804組  
          第二弾…セット:180組      バラ:714組



### Ⅲ 管理部門

#### 1. 会員管理・寄付金

会員数および寄付金の増加を目指し、宗の内外を問わず財団への関心を高めることを第一目標として広報活動をおこなった。

また税額控除対象法人として認可を受けたことを会員募集広告・パンフレット等にてアピールし、会員獲得に努めた。

その他、入会の動機につながる会員特典、会員制度の見直しを行い、会員拡充の方策を検討した。

平成 25 年度会員 正会員： 350 名（内 未収 51 名）  
一般会員： 22 名  
法人会員： 30 法人

---

会員合計： 372 名 + 30 法人

#### 《公益財団法人浄土宗ともいき財団 会費と特典》

■個人会員 ①正会員（1口 1万円） ②一般会員（1口 3千円）

■法人会員（1口 5万円）

※1 会員はすべて税制上の優遇措置が受けられる。

※2 会員には会報誌を発送する。

※3 正会員には功績点を付与。

#### 2. 会議

下記の日程にて、会議を開催した。

■監査会： ①平成 25 年 5 月 1 日 ②平成 25 年 11 月 15 日

■理事会： ①平成 25 年 5 月 23 日 ②平成 26 年 1 月 10 日

■評議員会：①平成 25 年 6 月 28 日 ②平成 26 年 1 月 30 日

## 理事会

平成 25 年度第 1 回理事会		
H24.05.23 明照会館 4 階 第 1 会議室	<<議案>> 1. 平成 24 年度事業報告及び財務諸表の件 2. 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 3. 諸規定の制定及び改定の件 4. 顧問の選任の件 5. 法然上人をたたえる会事業引き継ぎの件 <<報告事項>> 1. 定款、運営規則、資産運用規程の制定及び改定について 2. 平成 24 年度第 2 回理事会・評議員会の決議内容について 3. 職務執行状況の報告	原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認
平成 25 年度第 2 回理事会		
H25.01.10 明照会館 4 階 第 1 会議室	<<議案>> 1. ラジオ番組製作事業の廃止及び変更認定申請の件 2. 平成 26 年度事業計画(案)の件 3. 平成 26 年度収支予算(案)の件 4. 平成 25 年度第 2 回助成 助成団体選考の件 5. 第 2 回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等の件 6. その他の件 <<報告事項>> 1. 上半期監査報告 2. 職務執行状況の報告	原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認

## 評議員会

平成 25 年度第 1 回評議員会		
H25.06.28 明照会館 4 階 第 1 会議室	<<議案>> 1. 平成 24 年度事業報告及び財務諸表の件 2. 定款の変更の件 3. 諸規定の制定の件 <<報告事項>> 1. 顧問の選任について 2. 「法然上人をたたえる会」事業引き継ぎについて 3. 平成 25 年度事業計画及び予算について	原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認
平成 25 年度第 2 回評議員会		
H26.01.30 明照会館 4 階 第 1 会議室	<<議案>> 1. ラジオ番組製作事業の廃止及び変更認定申請の件 2. 平成 26 年度事業計画(案)の件 3. 平成 26 年度収支予算(案)の件 4. その他の件 <<報告事項>> 1. 平成 25 年度第 2 回助成 助成先 2. その他 上半期監査報告、「ともいきの会(仮称)」の発足	原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認 原案通り満場一致で承認

## 平成 25 年度事業報告 附属明細書

平成 25 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

平成 26 年 5 月  
公益財団法人 浄土宗ともいき財団